

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

大阪府岸和田市 岸和田市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	32	対象	透I 訓ガ	救臨が地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
192,736	30,575	非該当	非該当	7：1

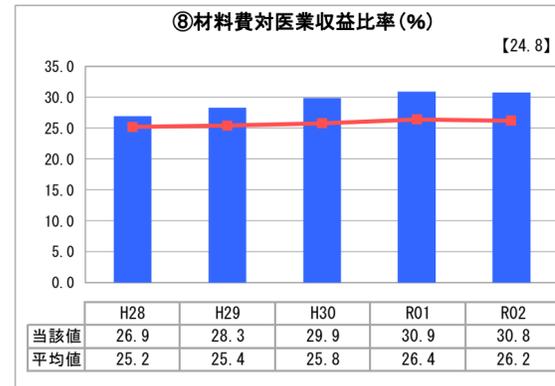
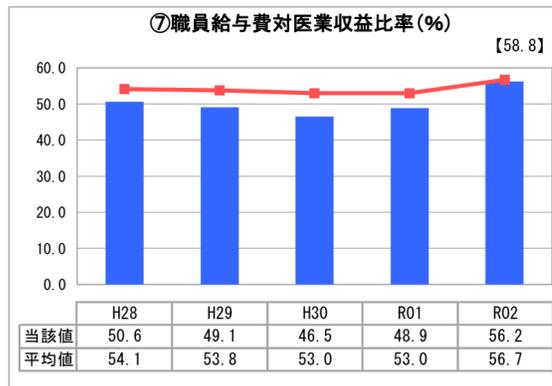
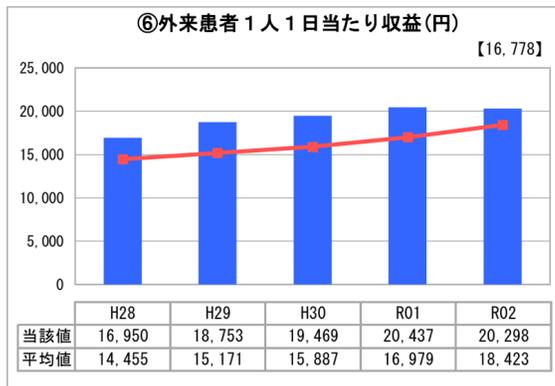
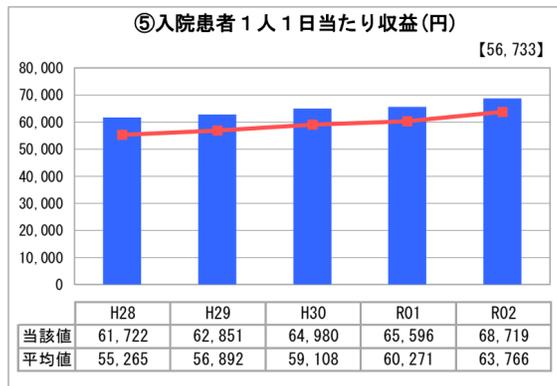
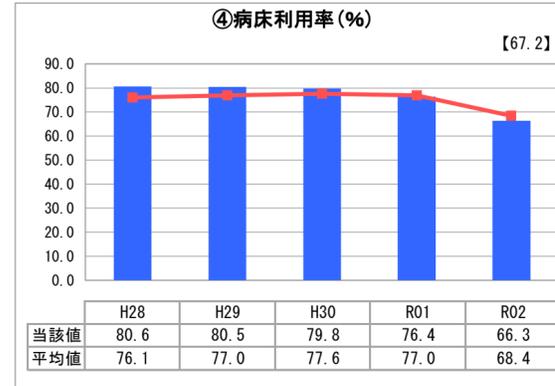
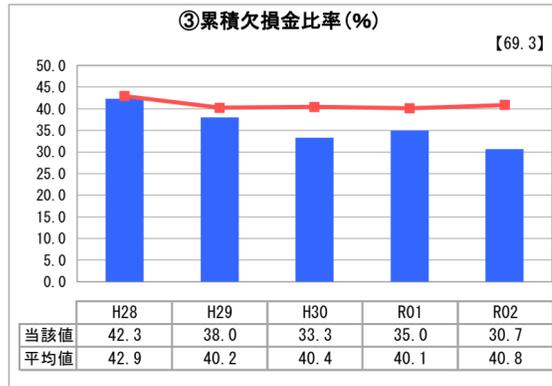
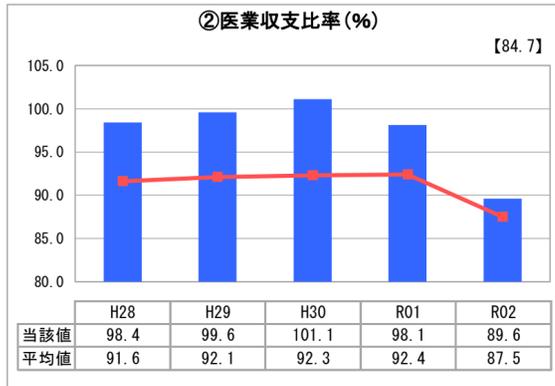
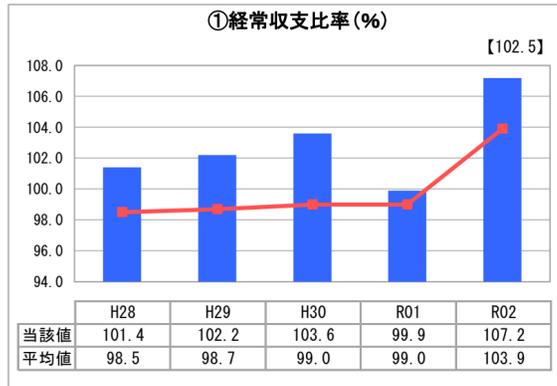
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

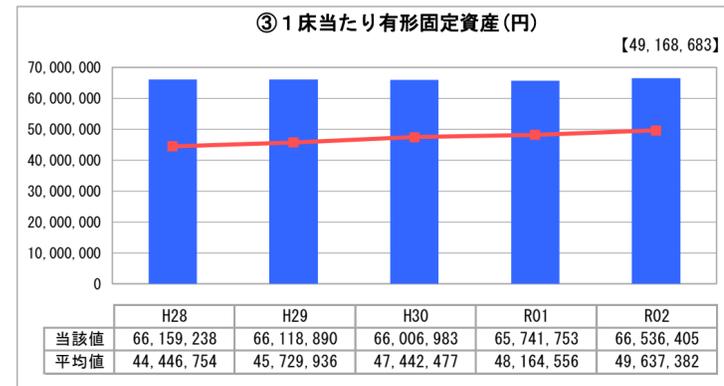
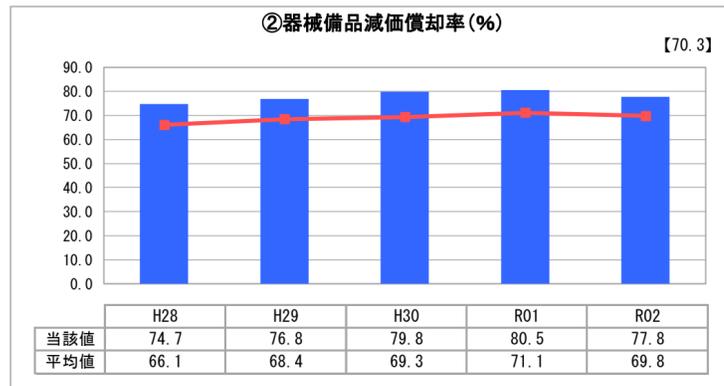
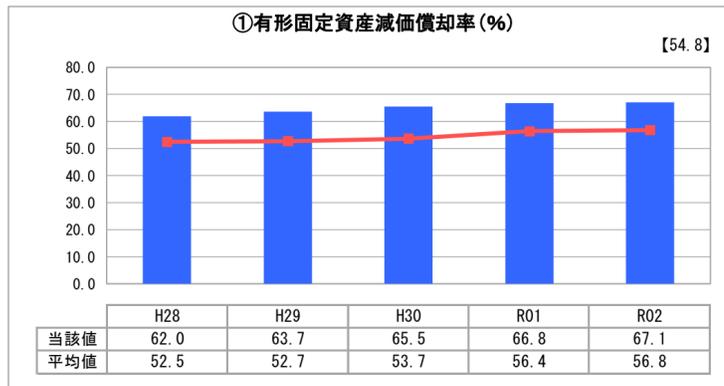
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
400	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	400
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
394	-	394

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

- ① 高度急性期、急性期病院として、24時間365日体制で救急医療を実施。また、輪番制で小児救急医療を実施。
- ② 国指定の地域がん診療拠点病院として、専門的で質の高いがん医療を提供。
- ③ 地域医療支援病院として、地域医療連携の強化及び地域医療の充実化を図っている。
- ④ 臨床研修病院として、専門医制度の内科領域基幹病院としての役割を担う。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナ空床補償補助金により経常収支比率は100%を上回っているが、新型コロナの影響による患者減少により医業収支比率は100%を切っている。いずれも類似病院平均値は上回っている。累積欠損金比率は減少し、類似病院平均値は下回っている。  
 入院外来ともに1人1日当たり収益は増加したものの、新型コロナの影響により病床利用率は類似病院平均値を下回っている。  
 職員給与費対医業収益比率は増加したが、類似病院平均値は下回っており、職員は適正配置されている。材料費対医業収益比率は減少しているが、類似病院平均値を上回っている。

### 2. 老朽化の状況について

新病院開設から20年以上経過し、有形固定資産減価償却率は増加しており、器械備品減価償却率は減少しているが、類似病院平均値は上回っている。  
 1床当たり有形固定資産の割合は増加しており、高度専門医療を提供するための積極的な投資をしていることから、類似病院平均値を上回っている。

## 全体総括

令和2年度決算は、医業収支比率は前年度を下回ったものの、経常収支比率は前年度を大きく上回って黒字経営となった。地域医療機関からの紹介を積極的に受けて、病床利用率を上げることで、医業収支比率を上げていく。  
 過去の企業債借入の償還により、平成29年度決算から資金不足に陥っていたが、コロナ空床補償による経常収支の回復により資金不足は解消した。  
 また、類似病院平均値と比較して施設設備の老朽化が進んでいることから、緊急性や必要性を勘案し、企業債借入計画の適正化と合わせて、計画的に投資を行っていくことが必要である。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。